



No. 162

平成28年3月定例会号

鷹栖中学校入学式

議会だより

孔雀草

(町花「マリーゴールド」の和名)

題字 宮島歩美

- P 2～ 町政の執行方針に対する質疑
- P 6～ 教育行政の執行方針に対する質疑
- P 10～ 第1回定例会
- P 12～ 人財を生かした協働のまちづくり
(平成28年度予算審議)
- P 16～ 一般質問(7名)
- P 23 第1回臨時会/議会のうごき/モニターの声を紹介!
- P 24 わたしのひとこと/くじゃくそうクイズ

第1回定例会

平成28年3月9日～17日

第1回定例会は、3月9日から9日間の会期をもって開催し、平成28年度の町政執行方針及び教育行政執行方針の報告を受けた後、7名の議員が一般質問（16～22ページ）を行い、町長の考えをいただきました。

議事は、補正予算、条例の改正及び平成28年度の一般会計予算ほか6会計予算を審議し、原案のとおり可決しました（10ページ～）。

また、2件の人事案件について同意し、会期を1日残し、3月16日に閉会しました。

農業の継承を進める

農業の継承

サポート体制は

Q. 片山議員

受け入れ農家へのサポートの考えと、トマト・きゅうり以外の新規作物（特産農産物）の考えは。

A. 側面的なサポートをしていきたい。特産農産物に関しては関係機関と相談し進め検討していきます。

担い手研修センター

Q. 辻本議員

農業担い手研修センターはどのようなものか。宿泊施設を伴うのか。

新規作物の研究

Q. 青野議員

A. 関係機関と連携し、施設野菜の研修ができるものを考えています。宿泊については、空き家や公営住宅で対応していく考えです。

トマトジュースに続く新規作物の想定は。産業用大麻の取り組みなどはどうか。

A. ハスカップを含むベリー類、健康食品など安心・安全な農産物、高収益野菜を適地適作でゾーニングを加味しながら、検討していきたいと考えています。

鷹栖町産ななつぼし

Q. 青野議員

鷹栖町産ななつぼしの今後の活用方法は。

A. 町内での販売のほか、学校給食米やふるさと納税の返礼品、また各種イベントを通して積極的にPRしていきます。

Q. 中家議員

鷹栖町産ななつぼしを農業振興公社で販売する考えは。

A. 公社で販売する計画はありません。

データ化の分野拡大

Q. 大石議員

農業技術の継承でデータ化を支援しているが、利用できる分野を広げては。野菜と米作と連携できないか。

A. 平成26年から3か年計画で実施し、今年度が最終年で結果を踏まえて農業者にPRします。

現在は野菜だけですが、水田での活用も検討したいと思います。

- 活力あふれるものづくり
- いきいきとした生涯元気なひとづくり
- 快適で生活しやすいくらしくり
- 人々がふれあう地域づくりとまちづくり

平成28年度
まちづくりの方針

林業・鳥獣被害 今後の体制は

Q. 大石議員

鷹栖町森林組合の作業員の高齢化が進んでいる。若者呼び込めないか。

A. 林業を若い人たちに担ってもらえる体制づくりを考えていきたい。



鷹栖町産ななつぼし



町政の執行方針

側面的なサポートで

間伐材の利用

Q. 大石議員

間伐材利用で新生児への記念品と暗渠資材以外での利用は。

A. 量が足りないため、バイオマス燃料など、他への利用はありません。

鳥獣被害防止対策

Q. 大石議員

新設のエゾシカ忌避用電気柵と、平成27年度から設置している鳥獣被害防止対策の緩衝帯との関係は。

電気柵では事故もあり、安全面で不安だが、管理はどこで行うのか。個人が設置した場合の安全は。

A. 緩衝帯では困り農で2頭捕獲できており、2か所の整備を継続します。

電気柵は約6kmを計画しており、地域農業推進会議と地域の方で管理設置を行います。

安全装置を経由するので感電事故は防止できると思います。

個人では1名の方が設置しており、点検の必要もあると考えています。

Q. 辻本議員

エゾシカ被害は深刻なので、今後も町が補助する形で事業を継続できないか。

A. 効果をしつかり検証をして、次年度以降の事業について検討します。

商工

イベントの雨天対策

Q. 坂根議員

昨年「秋の大収穫祭」は雨だったが、今年対策は。

A. 雨避けのできる場所なども設置したいと考えています。

商工業支援

Q. 植西議員

「新規開業等支援事業」は子育て世代の移住に繋がらないか。本業以外の商売にも助成が必要では。

A. 移住定住対策は、空き家改修助成事業で支援体制をとっています。商工会と連携して勉強会を行い、商業活動の活性化に取り組みます。

Q. 片山議員

商工業者を対象とした勉強会は、今まで昼間の開催だったが、多くの方が参加できる時間帯に開催する考えは。

A. 多くの商工会員、事業者の方を集められるように考えています。

企業誘致

Q. 中村議員

平成26年度から1市3町で進んでいる旭川地域企業誘致サテライトオフィスの旭川、東神楽、東川の実績は。

A. 旭川市企業立地課での実績は5件です。なお、本町を含む3町については、今のところ実績はありません。

雇用の創出

Q. 青野議員

町民の雇用の機会の創出、雇用促進対策事業の拡充への構想、計画は。

工業団地に企業誘致するため、旭川市と情報交換していく考えは。

A. 担い手研修センターの構想や、建設業従事者などの技術習得に対する助成金を考えています。

旭川市はライバルということも勘案しながら企業誘致活動を続けていきます。

町政の執行方針と教育行政執行方針は、広報たかす4月号と同時配布の「私たちのまちづくり」に掲載されていますので、合わせてご参照ください。

定住につながる雇用施策を

トータル的な施策を考えていく

Q. 中家議員

町内に農業従事者が増えていくことと同時に、二次産業やサービス産業従事者が増えていくことも重要だ。定住にむけ、雇用政策が最も重要と考えるが、どう雇用を作っていくのか。

A. 企業誘致や小さい子供のいる世帯の流入も多いので都市圏と近郊の方々の両方を含めて流入させたいかなければならないと考えます。そのために助成を拡充したり、子育て環境を整えたりトータル的な施策を考えていきます。

子育て支援

Q. 坂根議員

子育て支援に関する相談員は子育て支援センター内に常駐するののか。

A. また、この事業についての周知を図るのか。地域サロンなども活用しては。

A. センター内に保育士の免許を持った職員を常駐

させます。

広報やホームページ、フェイスブックなどを使いPRします。地域サロンにもPRしたいと思います。

Q. 植西議員

保育士の待遇改善についての考えは。

A. 正職員は町職員として採用し、他の職員と同様の待遇ですので、現状を継続します。

高齢者・障がい者支援

Q. 植西議員

冬場など活動範囲が狭くなる高齢者の方のケアについても、鷹栖町版CCRC構想の中に組み込めないか。

A. 地域の力を生かした活動や茶話会なども含めて進めていきたい。

Q. 青野議員

介護保険制度が改正されたことにより施設に入所できない方のための今後の施策は。どのような施設が必要になるかの計画が必要では。

A. 介護保険事業計画や高齢者福祉計画を立てていますが、入っていない部分もあるので、今後しっかり計画していきたいと思えます。

Q. 坂根議員

成年後見制度で後見人が引き受けやすくするためには、社協などがバックがあれば安心して引き受けやすくなると思うがどうか。

A. また、地域は地域の中で見ていければよいと考えるがどうか。

A. 広域で定住自立圏の成年後見センターに相談をしていただくという形でやっています。

これから成年後見人が必要になってくる方が多くなれば、現状をみながら整備を進めていかなければならない課題だと押さえています。

移住定住対策

Q. 青野議員

移住定住情報はどのような形で発信していくのか。

A. 東京での移住相談会の際や、実際に移住されてきた方などを対象に意識調査を行っていきます。

イメージが湧きやすい動画を5本制作しPRに努めていきたいと思えます。

Q. 坂根議員

サポーターズカードはどこで使えるのか。

A. 町内での利用はできませんが、ネットショッピングの際、サイモンズカード社のサイトを経由してヤフーショッピング等を利用すると、ポイントは同じようにつきます。PR不足だったので、周知に努めます。

※鷹栖町版CCRC構想：若い世代から高齢者まで、あらゆる世代が生きがいを持って、生涯にわたり心豊かに生活するための構想



防災訓練実施の様子

災害に備えた 防災訓練を定期的に

趣向を変えて継続的に
実施していく

災害対策は

Q. 木下議員

昨年は北野地区で防災訓練を実施したが、毎年定期的に行う考えがあるのか。また、現在9月1日の防災の日に関地区住民センターで行っている防災訓練は今後どのように行っていくのか。

A. 町全体での訓練という考え方はありませんが、水害などを想定した訓練はできる限り継続していきたいと思えます。

防災の日の訓練は27年から趣向を変えて実施していますが、これからも検討していきます。

Q. 青野議員

水害の際には、行政の職員もポンプ等を的確に操作できる体制も必要では。

A. 水害が起きると、避難・誘導もしなければならず職員もそこまで手が回らないので、役割分担をしっかりとマニュアル化していきたいと思えます。

たいと思えます。

橋梁長寿命化

Q. 植西議員

橋梁の整備の中で今後有害物質のPCB（ポリ塩化ビフェニル）が見つかった場合など、長寿命化に対する総合計画が必要ではないか。

A. PCB関係の調査を先に行い、緊急性や劣化度合いを考え計画的に進めていきたいと思えます。

職場にゆとりを

Q. 中家議員

職員の実務能力の向上を目指すとしているが、そのための考えは。

また、職員の能力を發揮させるため、職場環境をゆとりあるものにする必要があるのでは。

A. 農業体験や町内の人の顔と名前がわかるように地域の公民館事業に参加させるなどしています。

また、将来の幹部職員の養成を含めて、行政管理能

力の育成もしようと思っております。臨時職員の雇用を含め、職場体制を検討しながら職員には政策的な仕事をさせていきたいと思えます。

今後改築は？

Q. 片山議員

今後、改築または大規模な改修を検討している公共施設はあるのか。

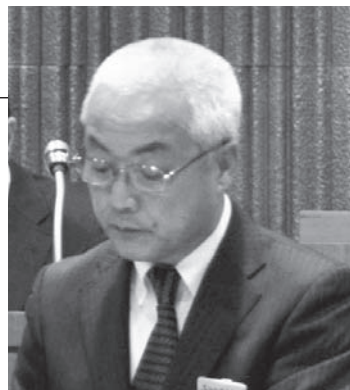
A. メロディホールの改修が一番大きく、他には鷹栖小学校も改修が必要です。役場についてはまだ計画としては立てていません。

若年層にも利用を

Q. 片山議員

シルバークロフトネスを高齢者に限らず、どの世代でも利用できるようにする考えは。

A. 高齢者の方の体幹機能を維持するための機材なので、若い人たちに合うかどうかも含め検討したいと思えます。



英語教育

Q. 植西議員

中央教育審議会の答申原案では英語の時間を増やすことが示されているが、どのように時間を作るのか。

また、現状の教職員の英語教育のスキルでカバーできるのか。

A. 朝の読書の時間を英語に触れ合う機会に少しずつ移行していかなければならないと考えています。

教職員も研修の機会を増やしながら進めます。

朝読書習慣

Q. 片山議員

朝読書の時間を英語に触れ合う時間に移行していくというのは、読書活動推進の面からは後退になるのでは。

読書活動推進計画の目標数値はどうか。

A. 朝読書以外にも他の時間を使い、進めていきます。

いと思っています。

読書活動推進計画は年代別を含め、目標年度を設定し進めていこうと考えています。

図書整備

Q. 中村議員

鷹栖中学校の蔵書率を上げる努力と学校司書の配置が必要では。

A. 改修時に古い図書を整理したので蔵書率は下がっています。2～3年を目途に蔵書率を80%にもっていきたいと思います。

学校司書の配置は現状難しいが、前向きに検討していきます。

Q. 片山議員

鷹栖地区住民センターの図書室に3万冊の本を揃える根拠は。

A. 読書環境協議会での検討の結果、設定しました。

Q. 片山議員

図書の需要についてしっかりしたりサーチをした上で、長期的に蔵書新鮮度を高く保つことを考えていくことなども必要ではないか。

A. 蔵書についても子供から大人までどのような図書室にしていくなか、これから検討を加えていかなければいけないと考えています。いずれにしてもできる限り、町民のみなさんの意向に沿った形に持っていきたいと考えています。



図書室での読み聞かせ

新聞を授業に活用

Q. 中村議員

中学校での新聞定期購読、授業への活用は。

昨年より引き続き定期購読を行っているが、1年経過して記事を題材にした教育が授業の中であったのか。

A. 道新と朝日の2紙を定期購読しており、約半数の生徒が見ています。現在は、教材として活用していませんが、今後学校とも相談しながら授業に活用していきたいと考えています。



鷹栖地区住民センター図書室

育てよう 生きぬく力 とどけよう 笑顔と元気



生活習慣見直し運動推進プロジェクト会議主催講演会

生活習慣見直し運動

Q. 植西議員

生活習慣見直し運動推進プロジェクトの効果は。プロジェクト会議と保護者の関わりをどのようにしているのか。

A. アンケート調査などを平成21年度より実施しており、保護者に浸透してきています。アンケート結果を保護者が確認し、他の家庭と比較して生活学習習慣をさらに見直し、より良い効果を生んでいると考えています。

通学合宿

Q. 日下議員

通学合宿の実施経過と公募方法ならびにこれまでの成果はどうか。

A. 平成15年より小学校の4・5・6年生全員を対象に公募し、親から離れ寝食を共にする貴重な体験の中で、心の成長に効果があると考えます。

犯罪被害防止対策

Q. 舟根議員

子供たちの携帯保有状況を把握した上で、犯罪被害防止のための施策を実行するべきでは。

A. 早急に調査をして、未然防止に向けた取り組みを進めます。

スポーツ推進

Q. 植西議員

スキーフェスティバルの参加者が以前より減っている。町で行っている大会なので増やす対策は。

A. 役員や多くの協力者はボランティアであり、健康・体力作りに役立つので原点に戻って町民に広くPRしたいと思います。

クラブ活動費助成拡大

Q. 木下議員

中学校の部活動以外の文化・体育系の活動への助成は。

A. 学習指導要領に沿った活動に対する援助を行っておりますが、学校外の活動については考えていません。

食育・給食

Q. 中村議員

「鷹栖町産給食の日」でオオカミの桃を使用したのが、ネーミングの由来や効果などについての教育は行われているのか。

A. 28年度も鷹栖町産の食材を使った日を2日間ほど予定しています。

由来などは献立表に書いてありますし、効果については栄養教諭が説明する機会を設けています。



Q. 青野議員

子供たちが、お米や野菜を育てたりする体験も必要では。

A. 小中学校それぞれで自分たちで野菜を作り、カレイライスにしたりしています。農家の働いている姿を見たり、収穫物を食べて感謝するということも授業の中で取り組んでいます。

Q. 片山議員

冷凍パックを利用し、地元産の食材を通年で利用している自治体もあるが、将来的にそのような環境づくりをする考えは。

A. 今後、検討します。



寺子屋での学習の様子

健康管理

Q. 坂根議員

フッ化物洗口を実施する前の基本として、ブラッシングを学ぶことが必要なのは。

A. 虫歯予防のためのブラッシングの指導と、洗口を並行して進めていききたいと思います。

Q. 木下議員

中学生を対象にしたピロ

リ菌の検査を実施するが、他の検査についての考えは。

A. 必要と判断されるものがあれば積極的に取り組んでいきたいと思えます。

魅力ある学校に

Q. 片山議員

鷹栖高校の倍率が1.0倍以下で、鷹栖中学校からの進学は1名という状況だが、この原因と今後の対策は。

A. 昨年度の倍率が高かったため、他の学校に移ったのではないかと考えています。

介護教育、クラス内少数教育の実施などの施策があります。入学準備金を含め、各中学校へのPRをさらに強化し、魅力ある高校へつなげる努力をしています。

学校教育指導主事

Q. 大石議員

学校教育指導主事が平成28年度から常勤とするわけは。

A. 主事は学校長を経験した方をお願いしています。学力・体力向上のため、各学校現場で子供たちの学習する姿を見てもらったり、先生たちに助言できる形をとりたいと思えます。

子供たちが有意義な時間を過ごすためにも進めたいと思います。

丸山句碑の森の教育現場への活用

Q. 中村議員

丸山句碑の森を学校教育現場に活用する考えは。

A. 学習や文化に触れ合う機会を提供できるように、学校と相談をします。

放課後学習

Q. 坂根議員

放課後学習の機会を設ける意味は。寺子屋との関係性は。

A. 各小中学校については放課後に支援員または先生がついて学習する時間を設けています。わからないものがわかるようになるよう支援しています。

寺子屋は子供たちが各自課題を持ってきます。放課後学習は遅れている困り感のある部分を手助けしていきたいと思えます。

寺子屋は北野で2か所、28年度からは鷹栖地区においても退職した先生方に社協がお願いし、スタートする予定です。地域の方にもできる限り一緒にやっていただきたいと考えています。



子ども教育相談室とスクールカウンセラー

Q. 坂根議員

子ども教育相談室とスクールカウンセラーのつながりは。

A. 子ども教育相談については、学校教育指導主事を考えており、主に保護者が対象です。

スクールカウンセラーは子供たちの相談で必要なきは保護者も入ります。年間50回くらい中学校に来ており、小学校からの要請にも応じます。

調査研究する 体育施設は？

Q. 坂根議員

指定管理に向けた調査研究を進める体育施設はどのようなものを想定しているか。また、何年かけて調査するのか。

A. 体育館、グラウンドなどです。29年度から始められるよう準備を進めていきたいと思えます。

中学生が議会を傍聴しました

3月15日に鷹栖中学校2年生の皆さんが、第1回定例会の執行方針質疑を傍聴しました。いただいた感想をいくつかご紹介します。

■私は最初、中学校の生徒総会と同じ様な感じだと思っていましたが、町議会議員や答弁者の町長や教育長の発言の仕方が、当たり前ですが私達のものとは異なり、とても驚きました。NHKでやっている国会での議論よりわかりやすく、町の自治について興味を持つことができました。

■議会で鷹栖町について真剣に議論してくれていることを知りました。子供たちの話題が出たとき、「このような大きな場所であり良くなるように意見を出し合ってくれているのか」と思いい、とても興味を持ったし嬉しくなりました。

■関心ある話がいくつももあり、教育長や町長の考えを知ることができた。いい経験になりました。

■議会を傍聴してみて、途切れることなく次々に質問が出てきて、ひとつひとつ

の質問に明確にすぐに答えが出てくるところがすごいと思えました。

■議会を聞いていて、勉強のことや、この鷹栖町についてしっかりと誰に質問するか、何のことで何を質問したいのか議員たちの話を聞いていて、私達でも話が聞きやすかったです。

■将来、社会人になった際にこのような議会に自分も参加する機会があると思うので、とても参考になる機会でした。



■議会にもっと子ども達や現場の声など町民全体で鷹栖町について考える機会があれば良いと思った。

■意外に議題は身近なことで話し合ってるんだなと少し驚きました。それに対して皆が真剣に考えて意見を出し合っていること、今まで生活していきながら、今までは議会で決まっていたことは議会で決まってきたことなんだと思うとすごいと改めて感じました。



補正予算

平成27年度予算が次のとおり補正されました。

- ・特別支援教育支援員の配置 659万4千円
- ・庁内OA化運営推進事業 1110万円
- ・年金生活等支援臨時福祉給付金 2799万4千円
- ・高齢者住宅等建設補助事業 4164万2千円

一般会計

主な内容は、事業完了見込みに伴う補正及び国庫補助金が見込みを下回ったことによる事業縮小によるものです。また、国の補正予算に伴う地方創生加速化交付金事業にかかる予算を計上し、28年度へ繰り越して実施します。

《28年度実施予定の事業に対する補正予算》

- ・移住定住用PR資材作成 149万5千円
- ・定住促進対策事業 977万4千円
- ・地域福祉活動支援事業 164万7千円
- ・小中学校への学習支援員配置 2502万7千円

	補正額	補正前の額	補正後の額
一般会計	△2億6548万9000円	57億4931万5000円	54億8382万6000円
内訳	議会費	△41万円	執行残減額
	総務費	1億1885万1000円	執行残減額、基金積立金増額ほか
	民生費	9732万9000円	高齢者住宅等建設補助金、障害福祉サービス給付金増額
	衛生費	△1342万5000円	執行残減額ほか
	農林費	△3億9499万5000円	国庫補助減に伴う事業縮小、執行残減額ほか
	商工費	69万9000円	決算見込みによる不足増額
	土木費	△2818万2000円	国庫補助減に伴う事業縮小、執行残減額ほか
	消防費	△56万3000円	執行残減額
	教育費	△3368万7000円	国庫補助減に伴う事業縮小、執行残減額ほか
	公債費	△1110万6000円	執行残減額
介護	△3749万3000円	7億9246万6000円	7億5497万3000円
公共下水道	△1047万3000円	2億1973万2000円	2億0925万9000円
水道事業	△1140万円		

《27年度の事業に関する補正予算》

- 減額補正により出た財源を、公共施設修繕等基金に積立します。
- ふるさと納税の増加により、基金に積立します。
- 障害区分が重度化しているため不足が見込まれる障害福祉サービス給付費を増額します。



特別会計

主な内容は、事業完了見込みに伴う補正です。



その他

- 旭川市との間における行政不服審査法第81条第1項の規定に基づく機関の設置及び運営に関する事務の委託について
行政不服審査法に基づく不服申立てがあった場合の審査を旭川市の審査会に委託します。
- 上川町村等公平委員会委員の選任同意
任期満了に伴う委員の選任に同意しました。
【再任】太田 悟さん (美瑛町)

- 特別功労者の選考同意
永年、消防団員としてご活躍された方の選考に同意しました。

畑山 一郁さん
(8線8号)



条例

18件の条例の一部改正を承認しました。特に記載のないものは平成28年4月1日からの施行です。

■情報公開条例の一部を改正する条例

■個人情報保護条例の一部を改正する条例

■町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

■手数料徴収条例の一部を改正する条例

■人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例

■固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例

以上6件は、行政不服審査法の全部改正に伴い、関連する事項を整理するものです。

■町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

育児又は介護を行う職員
の早出遅出勤務ができる要件に、義務教育学校の前期課程と特別支援学校の小学部を追加するものです。

■ふるさとまちづくり寄附条例の一部を改正する条例

寄附者が寄附金の使途を指定できるようにするものです。なお、使途の指定が無い場合は町長が指定できるようにするものです。

■消防団員の定員、任免及び服務に関する条例の一部を改正する条例

町消防団員の定員を94人から82人に変更するものです。

■修学基金条例の一部を改正する条例

基金の額を200万円から4000万円に変更するものです。また、基金から生ずる運用益及び貸付金の償還金の充当先を指定するものです。

■地域づくり研修費貸付基

金条例の一部を改正する条例

基金の額を100万円から500万円に変更するものです。また、基金から生ずる運用益の充当先を変更するものです。

■振興補助金条例及び水道、下水道条例の使用料の助成に関する条例の一部を改正する条例

町税等の公平公正な徴収を行う観点から、交付条件の補助申請年度の滞納を除く規定を削除するものです。

■町税条例の一部を改正する条例

町民税及び特別土地保有税の減免申請書記載事項から個人番号を除外するものです。

(平成28年1月1日より)

■町営バス運送事業条例の一部を改正する条例

町営バスの完全予約制によるデマンド運行移行に伴い、運行区間を運行区域に

変更するものです。これにより町営バスは9線から25線、6号から23号の区域で運行されます。

(平成28年10月1日より)

■新規開業支援事業補助金条例の一部を改正する条例

補助対象に既存店舗の改修を追加するものです。

■町有住宅使用条例の一部を改正する条例

移住希望者の体験移住に利用するため、住宅一棟を普通財産に所管替えるものです。

■廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例

■安定型廃棄物処理場設置条例の一部を改正する条例

事業活動から生じる一般廃棄物及び産業廃棄物の処理手数料を次のとおり細分化するものです。

(平成28年10月1日より)

町営バスの完全予約制に伴い、運行区間を運行区域に

手数料の種類	改正前	改正後	
一般廃棄物 処理手数料	300円	燃やせるごみ	600円
		生ごみ	600円
		資源ごみ	0円
		上記以外	1,200円
産業廃棄物 処理手数料	300円	農業用廃プラスチック	300円
		上記以外の産業廃棄物	1,000円

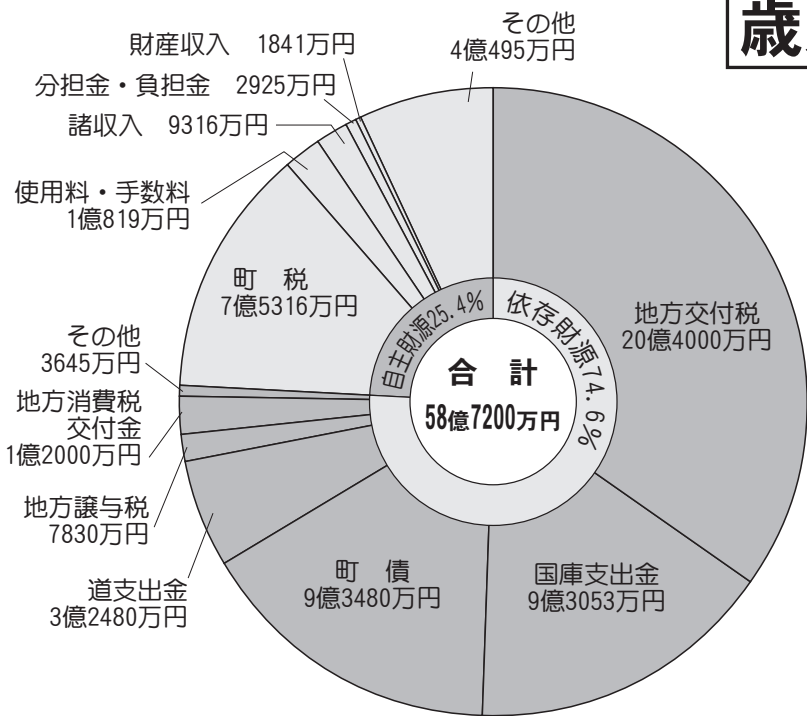
※料金は、いずれも100kgごとのもの。

まちづくり

定例会2日目の3月10日、新年度予算についての提案説明を受けました。

審査は、議員全員による予算審査特別委員会を設置し、16日に、予算計上されている事業などについての質疑を行い、原案のとおり可決しました。

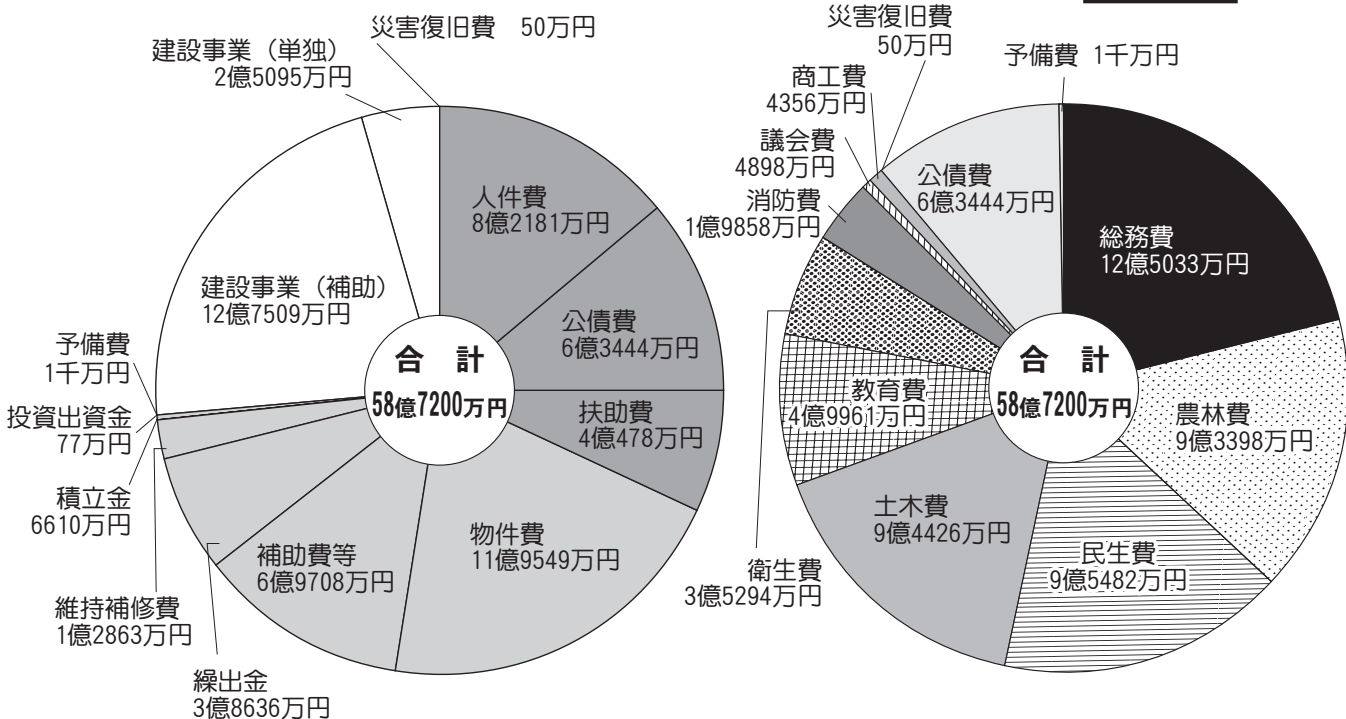
歳入



自主財源…
町が自主的に収入とすることができるお金

依存財源…
国・道から交付、補助されるお金や借金(町債)

歳出



性質別

目的別

人財を生かした協働の

会計名		予算額
一般会計		58億7200万円
特別会計	国民健康保険	9億8223万円
	後期高齢者医療	8372万円
	介護保険	7億8198万円
	公共下水道	2億5264万円
	公平委員会	47万円
	計	21億104万円
企業会計	水道会計	
	収益的支出	1億7180万円
	資本的支出	1億218万円
	計	2億7398万円
合計		82億4702万円

平成28年度
 各会計予算額

主な新規（拡充）事業

農林業・商工業の振興 農業インターン、農業ヘルパー、農業後継者等のパートナー対策、鷹栖町産米消費拡大、地域農業活性化総合支援、有害鳥獣駆除対策、農産加工施設・機械器具の修繕、プレミアム付商品券の発行、新規開業者への支援、雇用促進への対策、企業立地の推進など

子育て支援・地域福祉の充実 子育て支援相談室の開設、子育て支援センターの遊具購入、認定こども園施設整備補助、保育園の遊具購入、保育園の給食地産地消の日、不妊治療費助成、高齢者事業団への支援北野地区高齢者向け住宅の建設費補助、健康運動教室の用具購入など

学校教育・生涯学習の充実 ピロリ菌検査の実施、鷹栖小学校施設改修、地産地消の給食の日、生徒用机イスの購入、教師用教科書及び指導書等の購入、小中学校学習支援員・特別支援教育支援員の配置、鷹栖地区住民センター実施設計委託、北斗地区住民センターのトイレ修繕、メロディーホールの整備点検・備品購入、図書システムの導入・図書の購入、文化財保護団体の活動支援、総合グラウンドの照明設備改修、B & G海洋センターの床補修など

地域間交流 まるごとにつぼんコンソーシアム負担金、ふるさとたかす同期会の支援、あったかすくんPRなど

生活環境の向上・充実 町道路側溝の整備、10線道路舗装修繕、町道の維持管理、橋りょう長寿命化対策、道路照明灯の更新、オサラッペ川作動橋撤去工事、水位観測システム管理、河川土砂上げ用機械の借り上げ、除雪車（大型ロータリー車）の購入、町道14線道路水道管布設替工事、鷹栖汚水中継ポンプ場長寿命化実施設計委託など

安心・安全の推進 消防自動車の購入、水難救助資機材・消防活動資機材の購入、防災ヘルメットの購入、街路灯LED化工事など

予算審査特別委員会質疑

パレットヒルズのパークゴルフ場

Q. 片山委員 パレットヒルズの過去3年間の利用者数とそのうちの鷹栖町民の割合はどうか。指定管理の期間が3年から5年になったのはなぜか。

A. 総務企画課参事 入場者については平成25年1万871人、平成26年1万2900人、平成27年1万7825人です。町内外の区別は把握していません。家族での利用を促進するなど全体の利用方法の拡大も見据え、長期管理運営が必要と判断したため、5年としました。

Q. 中家委員 パレットヒルズのパークゴルフ場は利用客の減少が続いた場合、やめるという選択肢もあるのか。

A. 町長 パークゴルフ場は心と体の健康づくりという町づくりのポリシーに合った事業と考えています。現段階では利用客が順調に増加しており、継続する考えを持っていきます。将来、廃止という選択肢も含めて、その時点においてベストな選択をしていきたいと思えます。

丸山句碑の森活動補助金

40万円

Q. 中村委員

丸山句碑の森活動補助金が増額されているが、それで適正な管理ができるのか。

A. 教育課参事 草刈

り回数を増やし、随時実行委員会と打ち合わせをし、適正に管理を進めていきたいと思えます。

生活習慣見直し運動推進事業

53万円

Q. 日下委員

生活習慣見直し運動推進事業は学力向上を前提としているようだが、それでよいのか。また鷹栖独自のやり方を考えているのか。その学年の成長過程の変化をみていくことも必要ではないか。

A. 教育課長 この事業

は10年計画の8年目を迎え、客観的視野で10年間の集大成をし、子供たちのよりよ

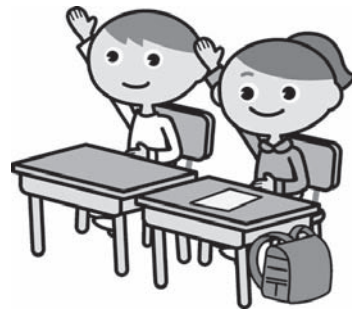
農産加工 トマトペースト

Q. 坂根委員

農産加工施設運営事業のトマトペーストを使用した加工品のその後はどうなったのか。

A. 産業振興課長 具

体的な商品化はしていませんが、現在研究中の段階です。予算計上はありません。



い成長を保護者と共に対応していきよう総仕上げをしていきたいと思えます。

芸術文化体験推進事業

207万円

Q. 青野委員

地元芸術を取り入れられないかを含めた方向性は。

また、子供たちの反応はどうか。

A. 教育課参事 小学

3年生から中学3年生の学年ごとに実施し、子供たちの要望も検討し、教育委員会と学校で協議し進めています。

町営バス運行事業

1715万円

Q. 片山委員

町営バスの運行事業について、体制が大きく変わった後に、利用者だけでなく利用できない方の声も聞き取る場が必要ではないか。

A. 町民課長 積極的

に聞き取りをしていきたいと思えます。

畜産競争力強化整備事業

1160万円

Q. 大石委員

上川中央地域畜産クラスター協議会に補助金が1160万円出ているが、建物規模は。また、機械への補助は。

加工施設の概要とクラスター計画は何年度までの事業か。

A. 産業振興課長 牛舎1棟

の要望で397㎡です。今回は機械のリース等の要望はなく、次年度以降は加工場を道に要望しています。加工場は枝肉にしたものをスライスすることを想定しています。計画は何年というより5年後の目標値で立てています。

Q. 辻本委員

牧場経営は多額の資金が必要なので、町での助成の拡大はできないか。

A. 産業振興課長 推進会議

とも連携した中で、牛舎の改善に対する支援についても取り組んでいます。

公共施設等総合管理計画の策定

256万円

鷹栖地区住民センター実施設計委託

4000万円

Q. 中家委員

新しい鷹栖地区住民センターの実施設計は中長期的な環境整備事業の調査を行ってからも遅くはないのでは。

A. 副町長 公共施設管理計画は町内にある各公共施設の整備・管理の計画であり、住民センターは総合計画に基づいて平成28年度実施設計、平成29年度着工を進めます。

Q. 片山委員

鷹栖地区住民センターの実施設計の年だが、事業費の変更は可能か。また、面積の変更についてはどうか。

A. 教育課参事 事業費はできるだけ無駄のないよう圧縮していきますが、面積は予定の2000㎡で考えています。

Q. 坂根委員

鷹栖地区住民センター建設についての説明は、各地区で行うのか。
A. 町長 鷹栖地区では行う予定ですが、5地区すべてでの開催については検討中です。

災害時の対応は

Q. 青野委員

北野の十線排水樋門改良工事が完了した後の運用は、どういう手順で行われるのか。

A. 建設水道課長

雨が降り出した段階でインターネットなどで今後の気象状況を確認し、降り続くと思定された場合、現地を確認を始めます。河川水位の上昇が見込まれる段階でポンプ1台を設置し、そ

の後状況により2台目を設置します。

Q. 中村委員

災害発生時の指揮命令系統は。

A. 総務企画課長

総責任者は総務企画課長です。各課長はそれぞれ担当を持ち、現場対応に当たります。

《特別会計》

〔水道事業会計〕

铸铁管の更新は

Q. 大石委員

27年度の铸铁管の腐食度調査の結果による28年度の対応は。

A. 建設水道課長 一部腐食が見られた箇所もあり、更新計画を立てて、順次更新していきます。



腐蝕した铸铁管継手

〔国民健康保険特別会計〕

療養費支給申請書

点検業務委託 43万円

Q. 大石委員

国保のレセプト等点検は、平成27年に引き続き整備院に対して行うのか。

A. 町民課長 柔道整復師については、複雑な治療を受けている方もいますので、今後も行っていく予定です。

国保基金

Q. 青野委員

国保基金の積立金が平成28年度にはなくなる見込みだが、その後の考えは。

A. 町民課長 市町村で集める賦課徴収の金額の中身や、基金がなくなつた時点で国の情報や税率を上げることを含めて検討します。

一般質問

一般質問とは定例議会において、各議員が住民を代表して行財政全般にわたり町当局の考え方や疑問をたずねることです。単に疑問を晴らし事実関係を明らかにするだけでなく、現行政策を見直し、新規政策を提言する議員の重要な活動です。

質問

企業誘致の行程計画は

中村 公憲 議員

答弁

年次計画は立てないが、工業団地の8区画完売を目指します(町長)



工業団地

中村議員は、「一問一答方式」で質問しています。

企業を誘致することは雇用の創出であり、税の確保であり、さらに町の活性化のため重要な施策である。

創生総合戦略で示された平成27年度から31年度までの新規参入企業7社というKPI(重要業績評価指数)の達成までの行程をどのように計画されるのか。

答弁 7社という数値は新規参入企業数であり、現在鷹栖町土地開発公社が保有する工業団地の8区画の完売です。

質問 行程計画とは、少なくとも28年度は何社を目標にし、29年度は何

社、最終的に31年度は累計7社であるというものであり、その工程の考え方、その目標に向かう手順を明確に示すべきではないか。

答弁 年度の目標は具体的に立てていません。現在商談中のところも2件あり、毎年全力を尽くす意気込みで進めます。

質問 創生総合戦略には、PDCAサイクルを回してKPIを達成するとなっているが、肝心の計画(P)がなければ、確な実施(D)はおぼつかない、まして監視(C)は難しいし、改善(A)をすることが出来ない。

企業誘致は、大変難しい仕事ゆえにしっかりと計画がある。5年間の全体計画を立て、さらに年度ごとの年次計画が必要と考えるが。

答弁 企業誘致は、相手方の事情もあり、単年度ではなく5年間の長期スパンで見えていただきたいと思います。

質問 5年間の考え方だけで年次計画も無いのでは、総合戦略を全うするのは難しいのではないかと、現に7年間も成約0ではないか。

答弁 政策ヒアリングを新年度から2回体制に

して、重要案件に関してしっかりと成果が出るようにします。

質問 未契約の8区画の造成費は3億200万円かかっている。7年間未契約ということは、その維持管理、利息も含め膨大な出費をしている。確実に5年間で8区画埋まる努力をすべきではないか。

答弁 全力を挙げて、努力します。





ココを問う！

質問



クロスカントリー大会出場の様子

スポーツ活動助成金の拡充を

答弁

少年団活動・中学校部活動等を継続支援していく(教育長)

答弁

さつき会との連携で介護予防活動を推進する(町長)

介護保険制度改正による高齢者福祉支援策は

大石議員は、「一括質疑方式」で質問しています。

平

成27年4月から介護保険制度改正で、特別養護老人ホーム(特

養)の入所要件を原則要介護3以上としたが、要介護1・2の方は「在宅での生活困難」と認められたケースなら、「特例的に入所できる」としている。

入所できなくなった要介護1・2の利用者・家族に対し、町としての支援策は。

要支援1・2の方の予防給付サービスの一部が市町村の手がける新しい総合事業へと移行するが、進捗状況は。

答弁 町長 要介護

1・2の方は地域包括支援センターで、相談を受

けるとともに在宅介護支援を行い、利用者や家族を支えます。

要支援1・2は平成28年3月より既存の介護予防訪問介護、介護予防通所介護と一般介護予防事業を総合事業へ移行し開始します。

さつき会の理学療法士と地域介護予防活動支援事業や地域リハビリステーション活動支援事業で、地域ぐるみの介護予防活動を推進します。

質問 要介護1・2の方の在宅介護は家族の負担が大きく、地域の見守りだけでは不十分では。

答弁 町長 北野地区にサービス付き高齢者住

宅を18戸を建設し、29年度から入居できる体制を進めていきます。

2

020年の東京オリンピック開催に向け、選手の合宿誘致が盛んに行われている。鷹栖町でも全国大会や世界大会で活躍する選手もおり、広告塔としても貢献している。

1年を通して活動し、合宿・遠征にもお金がかかり、親たちにとっては大きな負担になっている。ふるさと納税等で体育振興基金の寄付金を募り、活動資金助成金の増額は出来ないか。

答弁 教育長 スポーツ少年団や中学の部活で

は、全道・全国の各種大会等で優秀な成績を修め、鷹栖町の名前をPRしてくれています。個人の持ち物に一律補助するのは難しいですが、町の振興補助金だけでなく、活用できそうな補助金などの情報も積極的に提供しています。

ふるさと納税には、次代のふるさとを担う子どもたちの活動事業という項目がありますので、あえて体育振興基金への寄付ということは考えていません。

助成金については、少年団・中学校の先生等と話し合い、考えたいと思います。

大石 隆 議員



質問

農業ビジョンの推進体制は

青野 敏 議員

答弁

オール鷹栖的組織で連携して取り組む(町長)

青野議員は、「一問一答方式」で質問しています。



下 PPP協定など新たな時代を迎え、国内・国際情勢の変化により農業全体の対策が求められている。今回、鷹栖町農業ビジョンを策定し、将来の本町農業の中期的な方向性を示すことは、大変重要である。

答弁 しかし、それ以上に実行組織が大事です。関係機関や農業団体、畜産団体、農業者、青年部、婦人部、行政などオール鷹栖的地域協議会の組織と実施状況の点検、事業の見直し、進行管理の主体を担う組織が必要では。

議会があり、連携を図りながら取り組んでいきます。

鷹栖町農業振興対策協議会から選出された11名による農業ビジョン検討会で今後も中長期的な取り組みの検討を行います。

質問

農業ビジョンの計画は、地域関係者、地権者、耕作者も入って、PDCA、Plan(計画)、Do(実行)、Check(検証)、Action(改善)対策を行う体制は。

答弁 ビジョンの検討会は28年度以降も定期的に行い、農業関係者の方々にも民意を問う場面が必要と考えています。

質問

農地ゾーニングは、耕作条件不利地に対する取り組みの事業ですが、地権者、耕作者、地域、行政全体の課題であり、基盤整備や転作物の作付等々について、どのように対応する考えているのか。

答弁 基本的に農地は農地として維持していく事を前提に考えています。しかし、農地から非農地への土地のゾーニングも必要になると思います。まずは作物ゾーニングを中心に考えています。耕作条件が厳しい農地でも作付を推奨でき、所得に結びつく新規作物を含めた転作物物の検討と、基盤整備関係に補助事業

の活用も視野に入れて検討したい。

質問

条件不利地対策の地域ゾーニングを、国のモデル事業として指定してもらおうことの考えは。

答弁 新年度より、農業改良普及センターの活動に地域農業推進会議及び町も参画し、北斗地区でモデル事業を行う計画でいます。条件不利地も含めて土地のゾーニングではなく、作物のゾーニングを含めた検討を進め、他の地域にも広げていけるようなモデル地区として考えています。

質問

子ども医療費助成制度の周知方法は

答弁

いろいろな方法でしっかりと周知している(町長)

日下議員は、「一問一答方式」で質問しています。

子ども医療費助成の申請方式は制度認知度で活用度に増減傾向が出るといわれている。対象拡大とした中学生保護者への周知方法の工夫について伺いたい。

答弁 助成制度の周知方法については、広報誌、ホームページ掲載、転入者への制度説明、対象世帯への文書発送等です。

小中学生が受診を受けた割合は国保で70%、十分活用されていると認識しています。

最長5年(平成25年4月以降)まで遡つての申請ができることも含め、今後も助成制度の周知に努めていきたいと考えています。

本町での無料定額診療事業対象者の有無について伺いたい。

答弁 診療希望者は、居住地に関係なく、無料または半額で診療を受けられます。

しかし、無料低額診療事業を行う病院が所得状況を審査し、認定をするため、対象者数の把握は不可能です。

質問 無料定額診療事業を行う病院では、鷹栖町民の2名が診療を受けていたと聞く。低所得者は経済的恩恵を受けられる選択肢は多いほど良い。制度導入へのお考えを伺いたい。

答弁 調剤処方費用の助成について、現在のところ考えていません。

低所得者の対策というお話ですが、本町では単独1人暮らしの高齢者世帯に水道料の助成制度、経済的支援助成などを行っており、総合的に捉えてご理解をお願いします。

また、生活福祉相談センターの機能を強化することにより、今後もより相談しやすい体制づくりを進めてまいります。

- 「一括質疑方式」… 質疑事項を全て述べて、答弁を求める方法。制限時間はなし。
- 「一問一答方式」… 質疑事項を一つずつ取り上げ、質疑、答弁を繰り返す方法。制限時間45分。
- 「複合方式」… 質疑事項を全て述べて最初の答弁を求め、再質問から一つずつ質疑、答弁を繰り返す方法。「持ち時間45分」の時間制限あり。



日下 義朗 議員

質問

介護保険認定調査員の委託は

坂根 玲子 議員

答弁

遠方は委託予定、委託の拡大については今後検討する(町長)

カーポート設置に補助金を

答弁

除雪対策として必ずしも有効と限らないので予定はない(町長)



坂根議員は、「一問一答方式」で質問しています。

鷹 栖町の介護保険認定総数は430件前後。

その内、町内の施設・住宅が399名。町外が31名で特に遠距離は、富良野・函館・札幌の3名で、その他は旭川市内。

本町では介護保険認定の全てを保健師1名が調査しているが、他町村では新規申請と更新2・3回目は地域職員が行い、遠方はもちろん、旭川の施設入所されている方も委託している。また、区分変更申請には違う介護保険認定調査員が調査に行く。本町には5名の保健師の他に2名の臨時保健師を採用している。それだけ仕事が多いのだ

と思うので、委託できる

所は委託して費用・時間・労力の無駄をなくし、本来の専門職である保健師の仕事に力を入れた方が町民のためになるのではないだろうか。

答弁

町としては中立・公平を重視して保健師が専属担当してきた

経緯がありますが、平成28年度からは遠方の認定調査については委託を予定しています。新規・更新の認定調査は引き続き町保健師1名が専属で実施予定としています。メリット・デメリットも研究しながら、今後委託の拡大も含めて28年度に検討していきたいと思

います。区分変更の場合

については健康福祉課と早々に再検討します。

雪 の多い鷹栖町では高齢になったら住み続けられないと聞く。融雪

槽・ロードヒーティングに補助金を出していますが、どれだけ使用されているのか。カーポート設置にも一部助成の考えはあるか。

答弁

平成8年より融雪槽・ロードヒーティングに491件設置助成しています。耐用年数が経過した融雪槽も多く使用されていないものが

増えているのが現状です。本補助金は除雪対策で

あり敷地内の雪は敷地内で処理するのが目的であるため、カーポートは設置場所に条件を付けることが難しく、車庫との違いも区分出来ないことから設置補助の予定はありません。

※介護保険認定調査員……要介護認定の度合いを判定する調査職員。

質問

高齢者向け住宅の建設は慎重に

答弁

有利な起債を活用し進めていく(町長)

片山議員は、「一括質疑方式」で質問しています。



サービス付き高齢者向け住宅完成イメージ図

警 察団地の跡地利用は当初の計画では増収も望めたが、今回は2億5千万円の持ち出しから始まる。億を超える金銭の差額に関して、どう責任をとられるのか。

答弁 国の補助金や有利な起債を使い、実際の町の負担は約5千600万円となります。

サービス付き高齢者向け住宅(以下サ高住)の建設を実現することが責任を果たすことと考えます。

質問 中長期的な高齢者対策がどうなっているのか。このサ高住はどのような位置付けなのかを町民にもっと説明する必要があるのではないか。

答弁 第6期高齢者福祉計画や介護保険事業福祉計画は町民の意見も聞きながら立てています。

質問 現在、町内では約40人が、サ高住あるいはケア付き住宅を必要としているとのことだが、入居できない高齢者の対策はどのように考えているのか。

答弁 入居できない高齢者の方の受け皿も必要と考えています。時期は高齢者人口の推移などを見ながら検討します。

質問 サ高住には介護予防拠点が併設されるが、これらは別々に設置すべきではないか。

答弁 入居者には十分配慮します。地域の人の交流の場が欲しいとの声もあります。

質問 高齢者住宅への入居は、その分空き家を増やすことにもつながる。これを防ぐため、空き家をケア付き住宅に利用している自治体もあるが、お考えは。

答弁 平成28年度は今後活用できる空き家などについての対処を計画する予定なので、今後検討を進めていきます。

質問 月10万円もの経費を払い入居できる人は恵まれた存在と言わざるを得ない。それが出来ない

い人たちに目を向けることが町が本来するべき仕事ではないか。

答弁 地域包括支援センターと生活福祉相談センターで相談を受け付けています。

質問 町長が当面現状維持すると明言した人口も年々減少している。先の読めない時代であり、負債をかかえる事業に対しては一層慎重であるべきではないか。

答弁 交付税措置のある有利な起債を活用し、将来への負担軽減を図るとともに、財政指標にも注意しながら、計画を進めていきます。

片山 兵衛 議員



質 問

農地中間保有並びに農地整備助成の拡充は

答弁

農業者・農業関係者等の意見を聞き、検討していく(町長)

舟根 輝好 議員



舟根議員は、「一問一答方式」で質問しています。



農業者の高齢化・農家戸数が減少する(現在約350戸が10年後は約100戸減と推測)中、農地中間管理機構の利便性の改善と中間保有による農地の恒久化に加え、農地整備にかかる農家の費用負担の減免対策についての考えは。

答弁 農地中間管理機構については、改善点も多いことから今後要望もしていきたいです。

質問 農地中間管理機構の拡充に際しては、国営・道営事業では、町も応分の負担をしていますし、町単独の農地集積等推進補助金においても、賃貸農地における農地改良に対して

支援をしています。

支援をしています。

質問

農地中間管理機構は相手が決定している場合の受付になっており、農地改良の優遇措置もほぼない。経営転換者(地権者)には一定の利点はあるが、耕作者への利点は少なく、改善への即効性も考えにくいのでは。

答弁

中間管理機構の補助金の活用も検討、研究していきます。

質問

国営・道営事業などでも事業の農家負担は耕作者であるため、事業の同意に苦慮している。耕作者の負担軽減策の考えは。

答弁

先に述べた町単独の農地集積等推進補助金がありますが、助成の方法も今後さらに検討しながら、実情にあう内容にしていきたいと思えます。

質問

町単独助成金、農地集積等推進補助金は、農地売買に関する流動化には一定の効果があるが、賃貸借農地には効果が薄く、後の農業に使われる助成という考えに切り替えられないか。

答弁

理想と現実には差異があり農業者の意見を取り入れ、町単独事業と国の事業を使いながらより良い形で検討を進めて

いきます。

質問

農業ビジョンの中にも、次世代農業を考へ「農業基地構想」が示されているが、その組織が今後の鷹栖町農業の核になると考えて良いのか。

答弁

農業者と農業関係機関が目標を一つにし、基盤整備・不耕作地を見据えたゾーニング等、諸問題の解決のため、物事を進めていきます。予算の選択と集中を考え、検討を重ね進めていきたいと思っております。

第1回臨時会

3月31日に開催された臨時会において、専決処分の報告、平成27年度一般会計補正予算について審議し、原案のとおり可決しました。

■専決処分の報告（議会の委任により、軽易な事項を町が行い、事後報告を受けること）

【自動車事故による和解及び損害賠償額の決定】

賠償金額 16万4520円 相手方 鷹栖町在住の個人

■補正予算

	補正額	補正前の額	補正後の額
一般会計	691万6000円	54億8382万6000円	54億9074万2000円
総務費	800万円	寄附金をふるさとまちづくり応援基金に積み立てます	
衛生費	△123万4000円	後期高齢者医療特別会計の予算補正に伴う繰出金の減額です	
教育費	15万円	寄附金を財源に鷹栖中学校の図書を購入します	
後期高齢者医療特別会計	223万8000円	8221万6000円	8445万4000円
介護保険特別会計	99万6000円	7億5497万3000円	7億5596万9000円

モニターの声を紹介!

1年間アンケートにお答えいただいた皆様、大変ありがとうございました!

●だんだん読みやすくなっていると思います。町政に対する関心も以前よりも多少深くなったのかなと思います。お世話になりました。

●足の悪い方や車イスの方が傍聴したいときは、どの様に対応してもらえるのですか?問題なく傍聴出来ることを議会傍聴欄に掲載していただければと思います。

○「議会のうごき」は、過去の事もいいけど、今後の活動予定があってもよいのでは?

●議会の傍聴者を増やすことから始めては?自分も含め、無関心の人が多いと思います。

今後も、
モニターの皆さんからの意見を、
紙面づくりに活かして
いきたいと思います。

議会のうごき 2016.2.1 ~ 2016.4.30

2月

- 18日 議員協議会 (鷹栖地区住民センター改築ほか)
委員長等会議 (新年度予算概要ほか)
- 22日 経済福祉常任委員会
(第1回定例会の議案説明 ~23日)
- 23日 議員協議会 (鷹栖町農業ビジョンの策定ほか)
- 25日 総務文教常任委員会
(第1回定例会の議案説明 ~26日)
- 29日 議会運営委員会 (第1回定例会で提案される案件や
意見書の取り扱いを協議し、会期などを決定)
広報広聴常任委員会

3月

- 9日 第1回議会定例会 (~16日)
- 10日 議会活性化委員会役員会 (次年度へ向けて)
議会議員定数等調査特別委員会
- 25日 広報広聴常任委員会
- 30日 広報広聴常任委員会
- 31日 経済福祉常任委員会 (第1回臨時会の議案説明)
総務文教常任委員会 (第1回臨時会の議案説明)
第1回議会臨時会
議会活性化委員会総会 (次年度へ向けて)

4月

- 7日 議会運営委員会 (休日議会の検討)
- 8日 広報広聴常任委員会
- 14日 広報広聴常任委員会



照井 邦明さん
(北成町内会)

「農業を楽しみながら」

2020年に開催される東京オリンピック。爆買いといわれるアジアの富裕層たちのニュース。最近では日本ブームなのか、和のデザイン小物がやたらと増えてきた。

日本を訪れた観光客は1,973万人。ちなみに2010年は860万人。特に北海道のパウダースノーは質・量ともに世界のスキヤーの憧れだとか。

田舎で田植え体験、稲刈り体験を

しながらおにぎりを食べ、お茶を飲み、神社を詣る外人さんが隣にいるのも悪くない。基盤整備で田舎の田園風景も大きく変わろうとしているが、体験用に裸足で田植えの出来るこじんまりとした田んぼもあっていいと思う。

今年の田植えの帽子はアジアの人たちが被っているアレでいこう!!

■ わたしの一言 ■

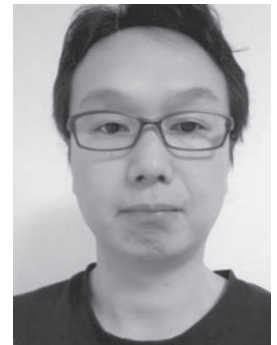
「子育て」

2014年10月に鷹栖町へ移住してきました。それまでは旭川市内に住んでいましたが、家が狭く感じ、北野地区へ引越してきました。12月の引越しということもあり、除雪の場所や方法をどの様にすれば良いかわからず不安でした。しかし、近隣に住んでいる方が皆さん親切に教えてくれたので、不安感はすぐなくなりました。その後も様々なことでお世話になり、とても感謝しています。

2人の子供にも優しく接してくれますし、本当に良い環境に移住できたと感じています。今の世の中では何

事もインターネットで「会話」することが多いですが、「会話」の基本は目を合わせて話をするのだと考えています。子供にもこのことを理解し、成長してほしいと思っているので、今の環境は有難いです。

町内会のイベントや町全体のイベントも充実していて、たくさんの人と話す機会がもてています。これからは様々な方々と、様々なことについて話すことで自分と家族が成長していければと考えています。こうした理由で、鷹栖町は子育てにはとても良い町だと思います。



山田 大輔さん
(北野東町内会)

くじやくさうクイズ

次の問題に答えよう

○に当てはまる言葉を入れてください。

- 問 1.** あらゆる世代が生きがいを持って生涯にわたり心豊かに生活するための構想は、鷹栖町版○○○○構想。
- 問 2.** 中学生を対象に行う新規事業の1つは、○○○菌検査。
- 問 3.** 寄附金で購入するのは○○○学校の図書。

ヒント

この議会だより「孔雀草」の中に答えがあるので、探してみてね。

《応募方法》

クイズの答え・住所・氏名・年齢をお書きのうえ、郵送、FAX、Eメールでご応募ください。孔雀草を読んだ感想や、議会へのご意見等もお書き添えいただければ幸いです。全問正解者の中から抽選で3名の方に商品券1,000円分をお送りします。(当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。)前回は12名の方にご応募いただきました。ありがとうございました。

《あて先》

〒071-1292
鷹栖町南1条3丁目 議会事務局 宛
FAX 0166-87-2196
✉ gikai@town.takasu.hokkaido.jp

《しめきり》

平成28年5月31日 消印有効

【個人情報の取り扱いについて】

ご記入いただきました個人情報は、賞品発送とそれにかかる業務のみに利用します。